

シリングポール公演御礼

霜月五日、冬隣の日本から常夏のシリングポール公演に参りました。総勢十六名。歴史的にも現在も、日本とは大変関係深い、同じアジアの国でありますシリングポールは街も美しく活気が溢れて居りました。到着は夜半、翌日は休む暇もなく野外演奏とワークショップ。

お夕食は日本文化協会のご招待で、返礼の歓迎会にご招待。

七日は在シリングポールJCCを訪問。会長始め松永一等書記官に種々お話を伺いました。八日の公演も実に感動的でした。

公演は和太鼓に日本舞踊と津軽太棹を織り込み、二部構成でしたが、それは見事な演出・構成でした。

最後総立ちの「ブラボー」「アンコール」でしたが、時間の関係でお答えできず真に残念、又参りますの通訳に怒涛の様な拍手でした。暖かくそして熱烈にお迎え頂き深謝限り無いです。

スムーズに運べたお舞台ではありません。山あり又山ありでしたが、総て乗り越え又々強くなりました。

力強く温かな応援で胸ハ丁をあえぎ乍ら着きましたシリングポールですが人々の親切な心づくしとおもてなしに唯々御礼申し上げます。ホテルもホールも同様です。その上、清潔でした。

シリングポールの歴史を知れば知るほど辛い過去を背負って独立した今のシリングポールに敬意を抱きます。

現在も同様ですが日本とは大変深い繋がりを持っています。

種々知らされました。今後とも親しい友人国であります様に。

常に思うのです。帰国致しまして青山の街に立ちますと

「日本に帰って来た」と。深い安堵を覚える事をです。

平成二十八年 師走吉日

小川 夏葉 記

良いお年を

お迎え下さいます様

天に恵みを地に平和を

祈念致して居ります